

平成24年度再資源化預託金等特別会計収支計算書(案)の説明書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

◎金額の表示について:百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値とは一致しない。金額がないものは'-'、金額はあるが単位未満のものは'0'で表示している。なお、金額がマイナスの場合は'△'で表示している。

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	522万台	483万台	108%	476万台	46万台	110%
引取時預託(後付預託を除く)	7万台	11万台	65%	10万台	△3万台	73%
合計(A)	529万台	494万台	107%	486万台	43万台	109%
※引取時預託(後付預託を除く)の予算には番号不明被災自動車対応分1.4万台含む。平成24年度実績は、右欄を参照。						
引取時預託(後付預託のみ)(B)	7万台	7万台	95%	7万台	△1万台	92%
預託台数合計(A)+(B)	536万台	501万台	107%	494万台	43万台	109%

(2) 品目別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車及び番号不明被災自動車を除いたもの)

	平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	差異(a)-(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
ASR	6,410円	6,520円	△110円	6,520円	△110円	
エアバッグ類	2,260円	2,330円	△70円	2,310円	△50円	
フロン類	1,990円	2,020円	△30円	2,020円	△30円	
合計	10,660円	10,870円	△210円	10,850円	△190円	

(3) 品目別の装備率(番号不明被災自動車を除いたもの)

	平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	差異(a)-(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
エアバッグ類	97%	96%	1	96%	1	
フロン類	99%	98%	1	98%	1	

(4) 金額

	平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	56,038百万円	53,171百万円	105%	52,266百万円	3,771百万円	107%
※予算には番号不明被災自動車対応分139百万円含む。平成24年度の当該収入実績は31百万円。						

【予算との比較】

○新車購入時預託台数は、平成24年9月まで続いたエコカー補助金の効果とそれに続く販売台数の回復により、通期で予算を上回った。

《新車購入時預託台数実績》

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成24年度予算	116万台	122万台	112万台	133万台	483万台
平成24年度実績	127万台	133万台	109万台	153万台	522万台
平成23年度実績	78万台	117万台	113万台	168万台	476万台

○引取時預託台数(後付預託を除く)は、定常分が予算10万台に対し7万台となったことに加え、番号不明被災自動車の発生が予算1.4万台に対し0.3万台となったことから、予算を大きく下回った。

《引取時預託台数(後付預託を除く)内訳》

引取時預託(後付預託を除く)	平成24年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
定常	7万台	10万台	72%
番号不明被災自動車	0.3万台	1.4万台	22%
合計	7万台	11万台	65%

《番号不明被災自動車の総台数見込み》

預託実績総台数	総台数見込み		進捗率
	年度予算作成時	見直し後※	
11,294台	23,000台	14,000台	49%
			81%

※平成24年12月に実績に基づいて見直しを実施

○販売台数における登録車と軽自動車の比率を65%、35%と想定していたが、実績では登録車比率が62%となったため、各品目の平均単価は予算を若干下回った。

○各品目の装備率は概ね予算通りとなった。

以上の要因から、再資源化等預託金預り収入は予算を上回った。

【平成23年度実績との比較】

○新車購入時預託台数はエコカー補助金の効果もあり、東日本大震災の影響を受けていた平成23年度実績を上回った。

○各品目の平均単価は、平成23年度実績を若干下回った。

以上の要因から、再資源化等預託金預り収入は平成23年度実績を上回った。

《品目別預託方法別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車及び番号不明被災自動車を除いたもの)》

	平成24年度決算		平成24年度予算		平成23年度決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
ASR	6,410円	5,730円	6,540円	5,770円	6,530円	5,770円
エアバッグ類	2,260円	2,240円	2,330円	2,220円	2,310円	2,230円
フロン類	1,990円	2,120円	2,020円	2,110円	2,020円	2,110円
合計	10,660円	10,090円	10,890円	10,100円	10,860円	10,110円

《品目別預託方法別の装備率(番号不明被災自動車を除いたもの)》

	平成24年度決算		平成24年度予算		平成23年度決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
エアバッグ類	98%	34%	97%	26%	97%	28%
フロン類	99%	31%	99%	33%	99%	33%

【予算との比較】

預託台数合計が予算を上回ったことにより、情報管理預託金預り収入も予算を上回った。

【平成23年度実績との比較】

預託台数合計は平成23年度実績を上回ったが、情報管理料金が平成24年4月1日より230円から130円に変更されたことから、情報管理預託金預り収入は平成23年度実績を下回った。

情報管理預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	522万台	483万台	108%	476万台	46万台	110%
引取時預託	7万台	11万台	65%	10万台	△3万台	73%
合計	529万台	494万台	107%	486万台	43万台	109%
※引取時預託の予算には番号不明被災自動車対応分1.4万台含む。平成24年度実績は、右欄を参照。						

(2) 金額

	平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	688百万円	642百万円	107%	1,118百万円	△430百万円	62%
※予算には番号不明被災自動車対応分18百万円含む。平成24年度の当該収入実績は0.4百万円。						

預託金預り収入計

金額

	平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	56,726百万円	53,814百万円	105%	53,384百万円	3,342百万円	106%
※予算には番号不明被災自動車対応分141百万円含む。平成24年度の当該収入実績は31百万円。						

《新車購入時・引取時別の預託金預り収入の内訳》

	平成24年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
新車購入時預託	56,051百万円	52,833百万円	106%
引取時預託	675百万円	981百万円	69%
合計	56,726百万円	53,814百万円	105%

【予算との比較】

予算通り。

【平成23年度実績との比較】

保有債券残高は前年に比べ増加しているが、新規取得債券の利率の低下により、特定資産運用収入は平成23年度実績並みとなった。

《保有債券残高実績》

平成24年度末残高	平成23年度末残高
8,595億円	8,432億円

2. 事業活動支出

① 預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1) 品目別の払渡台数

	平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
ASR	333万台	342万台	97%	280万台	53万台	119%
エアバッグ類	214万台	215万台	100%	160万台	54万台	134%
フロン類	282万台	280万台	101%	233万台	50万台	121%

※各品目の予算には番号不明被災自動車対応分を含む。内訳と平成24年度実績は右欄を参照。

(2) 品目別の平均単価

	平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	差異(a) - (b)		(a) - (c)	(a)/(c)
ASR	6,230円	6,180円	50円	6,180円	50円	
エアバッグ類	2,210円	2,200円	10円	2,160円	50円	
フロン類	2,090円	2,090円	0円	2,090円	0円	

(3) 金額

	平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	31,382百万円	31,710百万円	99%	25,630百万円	5,752百万円	122%

※予算には番号不明被災自動車対応分182百万円含む。平成24年度の当該支出実績は52百万円。

情報管理預託金払渡支出

(1) 台数

	平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	341万台	345万台	99%	289万台	52万台	118%

※予算には番号不明被災自動車対応分2.2万台含む。平成24年度実績は、右欄を参照。

(2) 金額

	平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	601百万円	600百万円	100%	470百万円	131百万円	128%

※予算には番号不明被災自動車対応分3百万円含む。平成24年度の当該支出実績は1.2百万円。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

	平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	2,365百万円	2,357百万円	100%	1,564百万円	801百万円	151%

預託金払渡支出計

金額

	平成23年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	34,348百万円	34,667百万円	99%	27,664百万円	6,684百万円	124%

※予算には番号不明被災自動車対応分186百万円含む。平成24年度の当該支出実績は53百万円。

《引取業者引取台数実績》

平成24年度			平成23年度 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
341万台	350万台	97%	296万台	44万台	115%

《番号不明被災自動車の品目別払渡台数実績》

	平成24年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
ASR	6,016台	21,900台	27%
エアバッグ類	3,704台	13,500台	27%
フロン類	2,479台	10,000台	25%
情報管理預託金	6,106台	21,900台	28%

《番号不明被災自動車の払渡総台数》

	平成25年3月までの 実績総台数(a)	総台数見込み※ (b)		(a)/(b)
		年度予算作成時	見直し後	
ASR	7,740台	23,000台	14,000台	34%
エアバッグ類	5,957台	16,100台	9,500台	37%
フロン類	2,790台	10,400台	4,500台	27%
情報管理預託金	9,555台	23,000台	14,000台	42%

※番号不明被災自動車のエアバッグ類及びフロン類の装備率  
当初想定:エアバッグ類70%、フロン類45%  
見直し後想定:エアバッグ類68%、フロン類32%

【予算との比較】

- 引取業者引取台数の実績は概ね予算通りとなった。
- 各品目の払渡台数は概ね予算通りとなった。
- 番号不明被災自動車の払渡台数は各品目とも予算を大きく下回った。
- 各品目の平均単価は概ね予算通りとなった。

以上の要因から、再資源化等預託金払渡支出は予算通りとなった。

《引取業者引取台数におけるエアバッグ類・フロン類の装備率実績》

	平成24年度		平成23年度 決算
	決算	予算	
エアバッグ類	64%	63%	57%
フロン類	85%	82%	83%

《品目別の再資源化等預託金払渡支出の内訳》

	平成24年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
ASR	20,764百万円	21,142百万円	98%
エアバッグ類	4,729百万円	4,726百万円	100%
フロン類	5,890百万円	5,841百万円	101%
合計	31,382百万円	31,710百万円	99%

【平成23年度実績との比較】

各品目の払渡台数が平成23年度実績を大きく上回ったことにより、再資源化等預託金払渡支出は平成23年度実績を大きく上回った。

【予算との比較】

- 情報管理預託金払渡台数は、予算通りとなった。
- 払渡の1台当たりの単価の比率は概ね予算通りとなった。

《情報管理預託金払渡支出の単価別の払渡台数》

1台当たり単価	平成24年度決算		平成24年度予算		平成23年度決算	
	払渡台数	比率	払渡台数	比率	払渡台数	比率
130円	183万台	54%	193万台	56%	195万台	67%
230円	158万台	46%	152万台	44%	94万台	33%
合計	341万台	100%	345万台	100%	289万台	100%

以上の要因から、情報管理預託金払渡支出は、予算通りとなった。

【平成23年度実績との比較】

- 払渡台数は平成23年度実績を大きく上回った。
  - 単価230円の払渡台数の比率が平成23年度実績を上回った。
- 以上の要因から、情報管理預託金払渡支出は平成23年度実績を大きく上回った。

【予算との比較】

利息を付与する払渡台数が概ね予算通りであったため、未払再資源化預託金等利息支払支出も予算通りとなった。

《未払再資源化預託金等利息支払支出の内訳》

	平成24年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
再資源化等預託金払渡支出に付す利息支払支出	2,322百万円	2,313百万円	100%
情報管理預託金払渡支出に付す利息支払支出	44百万円	43百万円	101%
合計	2,365百万円	2,357百万円	100%

【平成23年度実績との比較】

利息を付与する払渡台数および、1台当たりの利息単価が平成23年度実績を上回ったことから、未払再資源化預託金等利息支払支出は平成23年度実績を大きく上回った。

平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率	平成21年度利率	平成22年度利率	平成23年度利率
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%	1.344%	1.330%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

(1)台数

平成24年度			平成23年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
112万台	96万台	117%	93万台	19万台	120%

(2)平均単価

平成24年度			平成23年度	決算対前年度差異
決算(a)	予算(b)	差異(a)-(b)	決算(c)	(a)-(c)
11,170円	11,370円	△200円	11,190円	△20円

(3)金額

平成24年度			平成23年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
12,505百万円	10,911百万円	115%	10,421百万円	2,084百万円	120%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成24年度			平成23年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
856百万円	768百万円	111%	585百万円	270百万円	146%

預託金輸出返還支出計

金額

平成24年度			平成23年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
13,360百万円	11,679百万円	114%	11,007百万円	2,354百万円	121%

【予算との比較】

○輸出返還台数は、中古車輸出が増加傾向にあることから予算を大きく上回った。

《輸出返還台数実績》

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成24年度予算	24万台	24万台	24万台	24万台	96万台
平成24年度実績	26万台	27万台	30万台	29万台	112万台
平成23年度実績	22万台	24万台	22万台	25万台	93万台

○輸出返還平均単価は、予算を若干下回った。

以上の要因から、再資源化預託金等輸出返還支出は予算を大きく上回った。

【平成23年度実績との比較】

○輸出返還台数は、平成23年度を大きく上回った。

○輸出返還平均単価は、概ね平成23年度実績通りとなった。

以上の要因から、再資源化預託金等輸出返還支出は平成23年度実績を大きく上回った。

【予算との比較】

利息を付与する輸出返還台数は予算を上回った。利息の単価は予算を若干下回った。以上のことから未払再資源化預託金等利息支払支出は、予算を上回った。

《預託年度別の輸出返還台数実績》

預託年度	平成24年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
平成16年度	11万台	13万台	78%
平成17年度	42万台	41万台	104%
平成18年度	34万台	26万台	131%
平成19年度	13.6万台	9.4万台	145%
平成20年度	5.8万台	3.1万台	187%
平成21年度	3.6万台	1.6万台	229%
平成22年度	1.5万台	1.2万台	126%
平成23年度	1.0万台	1.0万台	103%
平成24年度	0.4万台	0.2万台	148%
合計	112万台	96万台	117%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

(※)なお、当年度預託の自動車の当年度輸出返還には利息は付されない。

《利息が付された輸出返還1台当たりの利息単価の実績》

	平成24年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
利息単価	767円	800円	96%

【平成23年度実績との比較】

利息を付与する輸出返還台数および、1台当たりの利息単価が平成23年度実績を上回ったことから、

未払再資源化預託金等利息支払支出は平成23年度実績を大きく上回った。

平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率	平成21年度利率	平成22年度利率	平成23年度利率
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%	1.344%	1.330%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額

平成24年度			平成23年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)※	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
1,215百万円	1,409百万円	86%	1,043百万円	172百万円	117%

当初予算(d)※	(a)/(d)
1,502百万円	81%

※会計規程は、代表理事の決裁を得て科目区分の大科目の中科目間において流用することができるとしていることから、本規定に基づき予算の流用を行った。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成24年度			平成23年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)※	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
93百万円	93百万円	100%	65百万円	28百万円	143%

当初予算(d)
-

※会計規程は、代表理事の決裁を得て科目区分の大科目の中科目間において流用することができるとしていることから、本規定に基づき予算の流用を行った。

他会計への繰入金支出計

金額

平成24年度			平成23年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
1,308百万円	1,502百万円	87%	1,108百万円	200百万円	118%

※予算には番号不明被災自動車対応分194百万円含む。平成24年度実績は、右欄を参照。

《出えん等先の内訳》

	出えん等額(※)	
	平成24年度	平成23年度
資金管理法人	744百万円	655百万円
指定再資源化機関	108百万円	97百万円
情報管理センター	456百万円	356百万円
合計	1,308百万円	1,108百万円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

《使途別内訳》

使途別内訳	出えん等先	出えん等額(※)		
		平成24年度	年度予算	予算進捗率
情報システムの性能対策費用	資金管理法人	682百万円	730百万円	93%
	情報管理センター	456百万円	470百万円	97%
離島対策等支援事業費用	指定再資源化機関	108百万円	108百万円	100%
番号不明被災自動車対応費用	資金管理法人	63百万円	190百万円	33%
	指定再資源化機関	-	4百万円	0%
合計		1,308百万円	1,502百万円	87%

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

番号不明被災自動車対応として、平成24年2月および3月に発生した3,051台分(予算3,800台)の35百万円を5月に、平成24年4月～平成25年1月に発生した2,143台分(予算13,500台)の28百万円を3月にえん等を行った。

【予算との比較】

- 情報システムの性能対策費用は、実施内容の精査等により、予算を6千万円程下回った。
  - 発生台数が予算台数を大きく下回ったため、番号不明被災自動車対応費用は予算を大きく下回った。
- 以上の要因から、他会計への繰入金支出は、予算を下回った。

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入

再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額

平成24年度			平成23年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
49,056百万円	47,860百万円	102%	39,689百万円	9,367百万円	124%

※予算には番号不明被災自動車対応分380百万円含む。平成24年度の当該収入実績は116百万円。

【予算との比較】

概ね予算通り。

【平成23年度実績との比較】

事業活動支出が平成23年度実績を上回ったため、事業活動支出を原資とする特定資産取崩収入も平成23年度実績を大きく上回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出

再資源化預託金等特定資産組入支出

金額

平成24年度			平成23年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
69,554百万円	66,515百万円	105%	61,587百万円	7,967百万円	113%

※予算には番号不明被災自動車対応分161百万円含む。平成24年度の当該支出実績は37百万円。

【予算との比較】

主として新車購入時の預託金預り収入の入金額が予算を上回ったため、平成24年度の特定資産取得支出も予算を上回った。

【平成23年度実績との比較】

主として新車購入時の預託金預り収入の入金額が平成23年度実績を上回ったため、特定資産取得支出は平成23年度実績を上回った。